



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月2日

上場会社名 株式会社菱食 上場取引所 東  
 コード番号 7451 URL <http://www.ryoshoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 勘治 (TEL) 03-3767-5204  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 奥村 隆 配当支払開始予定日 平成22年9月6日  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績 (平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	674,088	0.0	4,592	52.7	5,124	48.3	3,688	103.6
21年12月期第2四半期	673,892	—	3,006	—	3,456	—	1,811	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	85	82	—	—
21年12月期第2四半期	42	14	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第2四半期	367,859	78,487	78,487	21.0	1,795	54		
21年12月期	426,291	75,640	75,640	17.4	1,728	62		

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 77,164百万円 21年12月期 74,297百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年12月期	—	—	11	00	—	—	19	00	30	00
23年3月期	—	—	15	00						
23年3月期 (予想)					—	—	15	00	30	00

(注1) 当四半期における配当予想の修正有無：無

(注2) 21年12月期末配当19円には、当社発足30周年記念配当8円を含んでおります。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年1月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,900,000	37.2	13,000	25.2	14,000	26.7	7,500	58.2	174	52

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

#### 4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

23年3月期2Q	43,958,650株	21年12月期	43,958,650株
23年3月期2Q	983,196株	21年12月期	978,085株
23年3月期2Q	42,977,235株	21年12月期2Q	42,981,299株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、今期は決算期の変更 (12月31日から3月31日) に伴い、15ヶ月の変則決算となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(第2四半期連結累計期間) .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 品種別売上高明細表 .....	8
(2) 業態別売上高明細表 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外経済の改善等により、一部の企業収益は回復の兆しが見られた一方、欧州財政危機の影響や、国内においては雇用・所得環境が依然として厳しい状況で推移したこともあり、景気の先行きは予断を許さない状況で推移いたしました。

食品流通業界におきましては、一部では生活者の節約志向に一服感が見られたものの、生活防衛意識は根強く、依然として商品の低価格化が継続する厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社グループは、物流機能を核とした「集物型流通」とともに、近年注力してきたライフスタイルマーケティングを機軸とし、マーケティング機能の充実や外食事業データの蓄積、食品廃棄物の低減などの新たな取組みにより、「創造型流通」の構築を図ってまいりました。あわせて、物流費を中心としたコスト構造改革によるローコスト化を更に推進することで、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、冷凍・チルド類、酒類の拡大により前年同期比1億95百万円増加の6,740億88百万円となりました。利益面につきましては、販管費の削減等により営業利益は前年同期比15億85百万円増加の45億92百万円、経常利益は16億68百万円増加の51億24百万円、四半期純利益は前年同期比18億77百万円増加の36億88百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 財政状態の変動状況

食品流通業界において、売上高は年末にかけ大きく増加するという特徴を持っており、当社グループにおきましても第4四半期に売上高が増加するため、当第2四半期連結累計期間末の財政状態は、次の通り前連結会計年度末から総資産及び負債が大きく減少いたしております。

前連結会計年度末と比較して総資産が584億31百万円、負債が612億78百万円減少し、純資産が28億46百万円増加いたしました。

総資産及び負債の減少の主なものは、総資産において「受取手形及び売掛金」が340億37百万円及び「商品及び製品」が120億33百万円減少し、負債については「支払手形及び買掛金」が531億80百万円減少しております。

#### ② キャッシュ・フローの状況

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果使用した資金は、71億83百万円となりました。主たる要因は仕入債務の減少額531億80百万円、売上債権の減少額340億37百万円、たな卸資産の減少額120億53百万円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、3億35百万円となりました。主たる要因は有形固定資産の取得による支出7億52百万円等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、11億86百万円となりました。主たる要因は配当金の支払額8億16百万円等によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末(415億82百万円)比87億6百万円減少して、328億75百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

下半期の見通しにつきましては、国内景気に一部回復の兆しが見られるものの、雇用情勢は依然として厳しく、先行きは不透明な状態が続くものと思われまます。

当社グループではこのような経営環境に対処するため、更なるフルライン戦略の推進やマーケティング機能の拡充を図るとともに、徹底したコスト管理を継続することにより、業績の向上に努めてまいります。

なお、通期連結業績予想につきましては、決算期の変更(12月31日から3月31日)に伴い、平成23年3月期は15ヶ月間の業績予想数値となっております。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,626	2,167
受取手形及び売掛金	164,333	198,370
有価証券	31,400	39,600
商品及び製品	29,948	41,982
原材料及び貯蔵品	20	41
その他	37,985	39,996
貸倒引当金	△457	△541
流動資産合計	264,858	321,616
固定資産		
有形固定資産	63,268	64,425
無形固定資産		
のれん	5,044	5,267
その他	2,080	2,162
無形固定資産合計	7,125	7,430
投資その他の資産		
投資有価証券	15,133	14,926
その他	19,793	20,301
貸倒引当金	△2,318	△2,409
投資その他の資産合計	32,607	32,819
固定資産合計	103,001	104,674
資産合計	367,859	426,291
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	248,614	301,795
引当金	348	555
その他	25,996	35,098
流動負債合計	274,959	337,449
固定負債		
退職給付引当金	10,355	10,410
役員退職慰労引当金	433	421
その他	3,622	2,369
固定負債合計	14,412	13,201
負債合計	289,371	350,650

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	19,141	19,141
利益剰余金	50,368	47,497
自己株式	△2,547	△2,535
株主資本合計	77,593	74,733
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△409	△417
為替換算調整勘定	△20	△19
評価・換算差額等合計	△429	△436
少数株主持分	1,323	1,343
純資産合計	78,487	75,640
負債純資産合計	367,859	426,291

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	673,892	674,088
売上原価	616,784	617,672
売上総利益	57,107	56,415
販売費及び一般管理費	54,100	51,822
営業利益	3,006	4,592
営業外収益		
受取利息	71	58
受取配当金	245	260
不動産賃貸料	348	403
その他	233	279
営業外収益合計	899	1,001
営業外費用		
支払利息	29	48
不動産賃貸費用	251	320
のれん償却額	96	6
その他	71	95
営業外費用合計	449	470
経常利益	3,456	5,124
特別利益		
固定資産売却益	—	56
関係会社株式売却益	—	109
事業譲渡益	78	—
貸倒引当金戻入額	16	—
その他	13	0
特別利益合計	108	165
特別損失		
投資有価証券評価損	8	198
固定資産除却損	44	1
減損損失	85	577
その他	66	110
特別損失合計	204	888
税金等調整前四半期純利益	3,359	4,401
法人税、住民税及び事業税	1,484	915
法人税等調整額	51	△204
法人税等合計	1,536	711
少数株主利益	12	2
四半期純利益	1,811	3,688

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,359	4,401
減価償却費	2,394	2,236
減損損失	85	577
のれん償却額	221	216
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△207	△54
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△156	△174
受取利息及び受取配当金	△316	△319
支払利息	29	48
持分法による投資損益(△は益)	△1	5
有形固定資産売却損益(△は益)	5	2
投資有価証券売却損益(△は益)	0	17
投資有価証券評価損益(△は益)	9	198
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△109
売上債権の増減額(△は増加)	40,577	34,037
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,315	12,053
未収入金の増減額(△は増加)	4,424	3,047
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,415	△53,180
未払消費税等の増減額(△は減少)	299	579
その他	△6,965	△8,520
小計	△5,330	△4,923
利息及び配当金の受取額	316	319
利息の支払額	△28	△54
法人税等の支払額	△1,644	△2,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,687	△7,183
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,223	△752
有形固定資産の売却による収入	154	931
無形固定資産の取得による支出	△224	△256
投資有価証券の取得による支出	△254	△604
投資有価証券の売却による収入	0	112
関係会社株式の売却による収入	—	154
短期貸付金の増減額(△は増加)	△39	61
長期貸付けによる支出	△3	△0
長期貸付金の回収による収入	35	177
事業譲渡による収入	107	—
その他	△430	△158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,879	△335
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△129	△339
配当金の支払額	△472	△816
少数株主への配当金の支払額	△22	△19
自己株式の純増減額(△は増加)	△1	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△625	△1,186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,192	△8,706
現金及び現金同等物の期首残高	35,813	41,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,621	32,875



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 品種別売上高明細表

単位：百万円（未満切捨）

品種	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)		前連結会計年度 (自平成21年1月1日 至平成21年12月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
缶詰類	11,211	1.7	10,893	1.6	22,697	1.6
調味料類	94,227	14.0	92,757	13.7	195,684	14.1
麺・乾物類	69,785	10.3	67,230	10.0	142,085	10.3
嗜好品・飲料類	102,223	15.2	99,652	14.8	210,223	15.2
菓子類	25,180	3.7	25,682	3.8	50,768	3.7
冷凍・チルド類	173,539	25.8	178,733	26.5	365,679	26.4
酒類	158,841	23.5	164,186	24.4	312,164	22.5
その他	38,882	5.8	34,951	5.2	85,448	6.2
合計	673,892	100.0	674,088	100.0	1,384,750	100.0

## (2) 業態別売上高明細表

単位：百万円（未満切捨）

業態	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)		前連結会計年度 (自平成21年1月1日 至平成21年12月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
卸売	57,372	8.5	55,331	8.2	113,873	8.2
GMS	67,653	10.0	79,498	11.8	152,239	11.0
SM	311,007	46.2	309,430	46.0	635,621	45.9
CVS	114,942	17.1	108,886	16.2	232,834	16.8
ドラッグストア	26,754	4.0	26,521	3.9	55,228	4.0
ユーザー	26,500	3.9	27,041	4.0	53,980	3.9
その他直販	57,462	8.5	56,421	8.3	116,307	8.4
(直販計)	604,320	89.7	607,799	90.2	1,246,212	90.0
メーカー・他	12,199	1.8	10,956	1.6	24,664	1.8
合計	673,892	100.0	674,088	100.0	1,384,750	100.0

(注) 1. GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアの略で、総合スーパーであります。

2. SMはスーパーマーケットであります。

3. CVSはコンビニエンスストアであります。

4. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。